

項目	説明	
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	急性骨髄性白血病における同種造血幹細胞移植後、非血液学的再発に対する先制化学療法介入の意義
	研究対象者	2017 年 4 月から 2022 年 6 月まで当院にて急性骨髄性白血病と診断され初回同種造血幹細胞移植を受けた患者。
	研究目的	急性骨髄性白血病同種移植後微量残存病変の陽転化とそれに対する早期治療介入によって有効性と安全性の意義を検討する。
	研究方法	急性骨髄性白血病同種移植患者 146 例を診療録および診療科データベースを用いた単施設後方視的観察研究。特に介入を行わない。
	個人情報保護	提供される患者さんの診療情報は、容易に個人を特定できないように匿名化して使用させていただきます
	研究期間	西暦 2023 年 6 月 12 日～西暦 2025 年 12 月 31 日
利用する試料・情報の項目(チェック[X]が入った項目を利用します)	[]試料:	[]血漿、[]血清、[]全血、[]末梢血から抽出した DNA、 []病理検体(具体的に記載: _____)、 []尿、[]糞便、[]唾液、[]胸水、[]腹水、[]脳脊髄液、 []毛髪、[]その他(具体的に記載: _____)
	[X]情報:	[X]診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[X]年齢、[X]性別、 [X]既往歴、[X]併存疾患、[X]外来日・入院日・退院日、[X]臨床検査値、 [X]放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、 [X]臨床所見・経過(予後追跡データを含む)、[X]看護記録 []その他(具体的に記載: _____)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター 研究責任者	血液腫瘍内科 立花 崇孝
	共同研究機関 および責任者	なし
	その他の機関	なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口	神奈川県立がんセンター 血液内科 立花 崇孝 利用停止のお申し出は 2023 年 12 月 31 日までをお願いいたします	